

故 郷忘しがたく候」。私たちの町には「薩摩焼の里・美山」があります。そのルーツは、16世紀末に朝鮮の役で島津軍に連れてこられた陶工の人たちが、この地美山を永住の地として選び、今日に至るまで苦勞された経緯が記されています。わが町・鹿児島島の誇りである薩摩焼を知るためにも、ぜひ一読されてみてはいかがでしょうか。う。

(T.O 東市来町 60代男性)

お便りありがとうございます。
私も司馬遼太郎が好きで、大学時代はよく読んでいました。日置市に入庁して、本で読んだ地域と関わることができて感動したことをおぼえています。私もおすすめの1冊です。

子 育ても一段落した40歳のころから読書を楽しむようになりました。中でも瀬戸内寂聴の現代語訳「源氏物語」は、時が経つのも忘れて読破しました。後にさまざまな本を読む中で「源氏物語」に出てくる女性たちの話題や例えを理解できて、本当に読んで良かったなと思いました。
(T.T 伊集院町 50代女性)

お便りありがとうございます。
「源氏物語」、日本史の授業で習っても、まだ読んだことがありません。千年以上経っても読まれ続けている世界最古のベストセラーなのだから。私のまわりにもファンがいますよ。このお便りを機に私も読んでみます。

今月のお題～心に残る本との出会い～

司 馬遼太郎の「竜馬がゆく」に出会ったのは大学2年の時だった。大学の勉強に興味を持たず人間関係にも悩んでいた私は、主人公の竜馬の魅力にどんどん引かれていった。そして私は休学し、イギリス留学を決心した。英語は得意ではなかったが、今でも英語の勉強は続けている。仕事に英語は関係ないが、自分の大きな自信となっている。
(いつも笑顔 伊集院町 50代男性)

お便りありがとうございます。
私も大学時代は司馬遼太郎をよく読んでいて、歴史上の魅力ある人物の姿にひかれていました。勉強そっちのけで読んでいました。イギリス留学もされたんですね。積み重ねてきたものは確かに大きな自信になります。これからもがんばってください！

平 野威馬雄著「レミは生きている」。今ではハーフとして一目置かれ、各界で活躍されている人も多し中、著者は「あいの子」と呼ばれて差別を受けていた。たまに会う娘の事を書いた自伝的小説で、今から30年ほど前に読み、主人公「レミ」に同情していた記憶を持っていたが、シャンソン歌手であり、料理愛好家で、テレビで明るくハキハキしゃしゃきと活躍されている平野レミさんの事だと判り驚いた。
(たんちゃん 東市来町 60代女性)

お便りありがとうございます。
あの平野レミさんのことですね。あの明るいキャラクターの印象が強くて、そんなつらい過去があったなんて信じられないですね。娘を思う親の気持ち、私も読んでみようと思います。

数 年前、私は指輪が抜けなくなり、市消防署で指輪を切り取ってもらった。帰りに、恥を忍びつつ貴金属買取店に持って行ったら、なんと数千円の思わぬ収入！先日、実家の整理をしていたら、夫が職場で結婚25周年記念にもらった金杯（24 K G P）と、棚の奥にしまった古い金色の仏像を見つけた。そこで、また期待と不安を抱きつつ、例のお店を訪れた。でも不安の中！なんと数十円の査定。24 K の後ろの G P とはメッキの意味と知った。仏像は罰が当たると思い持ち帰ったが、夫は「純金板と書いた純金板似の箱ティッシュをもらえばよかったね」と笑うことしきり！（金箔嫌代 伊集院町 60代女性）

お便りありがとうございます。
がつくりの査定でしたね。なかなか素人には違いが判らないですね。掃除を試みたら、まだまだ家の中にお宝が眠っているかもしれないですね。

フリートーク

～日置市お便り板～